

各位

平成 25年 3月 15日



会社名 岩崎通信機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 社長執行役員
 近藤 恒男
 (コード番号 6704 東証第一部)
 問合せ先 取締役 執行役員
 龍崎 正司
 TEL (03) 5370 - 5111

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 24年 11月 9日に公表した平成25年3月期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の通期の業績予想及び配当予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成25年 3月期通期連結業績予想数値の修正(平成 24年 4月 1日 ～ 平成 25年 3月 31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成 24年 11月 9日 発表)	25,800	0	0	0	0.00
今回修正予想(B)	24,200	△ 250	△ 120	120	1.20
増減額(B-A)	△ 1,600	△ 250	△ 120	120	1.20
増減率	△ 6.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年 3月期)	25,425	12	168	97	0.97

2. 業績予想修正の理由

当期の売上高は、世界経済の減速と円高及び国内の不況感により、設備投資の抑制基調が続いており、復興需要で増加した前年度に対し減少基調となりました。特に、計測事業では大口顧客に対する売上高の減少と共に、重点商品であるパワーエレクトロニクス分野でも発注の延期、凍結等があり計画比約3億円の減、製版事業では製版機器、消耗品が計画を下回ると共に新規参入のラベル印刷機が市場要求への対応の遅れもあり約8億円の減となるほか、コンポーネント事業においても、部品市場の停滞が続き約2億円減となり、全体では連結売上高は前回予想比で約16億円の減少となる見通しであります。

利益面につきましては、原価率の改善と経費圧縮を進めることで事業損益の改善を推進しましたが、売上高の減少が予想以上であり、連結営業損益は2.5億円の損失、連結経常損益も約1.2億円の損失となる見通しであります。また、当期純損益では、平成22年度の土地収用に関わる圧縮特別勘定積立金の取り崩しに伴う約3億円の繰延税金負債の戻し処理により、1.2億円の利益となる見込みであります。

3. 配当予想の修正の理由

当社は、平成25年3月期の期末配当を未定としておりましたが、上記のとおり平成25年3月期の業績見通し等を総合的に判断いたしました結果、1株当たり1円00銭とさせていただきます。

基準日	1株当たり配当金(円)				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回発表予想 (平成 24年 11月 9日 発表)	—	—	—	未定	未定
今回修正予想	—	—	—	1.0	1.0
当期実績	—	0.0	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年 3月期)	—	0.0	—	0.0	0.0

<業績予想に関する注意事項>

当資料に記載されている業績見通しおよび将来の予想に関する記述は、当社および当社グループにおいて現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績につきましては、さまざまな要素により、これら業績予想と大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。